

各 位

2022年12月12日
株式会社リットーミュージック

『ゆでめん』から53年、はっぴいえんどとは何だったのか？



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『はっぴいえんどの原像』を、2023年1月20日に発売します。

細野晴臣、大滝詠一、松本隆、鈴木茂から成る日本のロック・バンド〈はっぴいえんど〉の影響力は、それぞれの活躍により、より一層大きなものになった。しかし、その魔法のような音楽がどうして生まれたのか？ どんな風に組み立てられていったのか？ 70年代初頭の風景にどう共鳴していったのか？ 納得のいくような説明を描く本に出会ったことがない。本書では、膨大な資料や、関係者インタビューをひもとき、60年代に彼らが音を出す瞬間までの道のりと、あの音楽が生まれた1970年代初頭のリアルな彼らを現代の視点から描き出す。『ゆでめん』から53年、その現場や、その音楽性の真実に触れながら、今こそ勇気をもって、はっぴいえんどの正体を語り尽くそうではないか！ 著者は、パール兄弟他で活躍するミュージシャン・サエキけんぞうとはっぴいえんど人脈とも交流がある評論家、篠原章。

■書誌情報

書名：はっぴいえんどの原像

著者：サエキけんぞう／篠原 章

定価：2,200 円（本体 2,000 円＋税 10%）

発売：2023 年 1 月 20 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3120317108/>

CONTENTS

序 たとえば渋谷とはっぴいえんど

第1章 はっぴいえんどができるまで

第2章 はっぴいえんどのバックグラウンド（1）～米軍基地と夜遊びカルチャー

第3章 はっぴいえんどのバックグラウンド（2）～反戦・反体制カルチャーと URC

第4章 はっぴいえんどと漫画カルチャー～『ゆでめん』は『ガロ』、『風街ろまん』は『COM』である

第5章 『ゆでめん』は『ア・ロング・バケーション』？

COLUMN はっぴいえんどファンの原像

第6章 ミッシングリンクを埋める幻のライブ発見！

考察 「ゆでめんリスト」から読み解くはっぴいえんどの世界観

第7章 はっぴいえんどの新機軸～「です」調ロック語法とその影響力

第8章 3 枚目『HAPPY END』の“飛航、状態

第9章 はっぴいえんどは日本とアメリカに「さよなら」できたのか？

COLUMN はっぴいえんどラスト・コンサート～1973-9-21～リアルな体験記

PROFILE

サエキけんぞう

アーティスト・作詞家。1980 年ハルメンズ『近代体操』でデビュー、86 年パール兄弟『未来はパール』で再デビュー、2003 年『スシ頭の男』でフランス・デビュー。作詞家として、沢田研二、モーニング娘。、サディスティック・ミカ・バンド、他多数に提供。著書『歯科医のロック』（角川書店）他多数。12 年著書『ロックとメディア社会』（新泉社）でミュージックペンクラブ賞受賞。最新刊『エッジな男 ムッシュかまやつ』（共著・リットーミュージック／2017 年）。

篠原 章（しのはら・あきら）

1956 年生まれ。大東文化大学教授などを経て評論家。日本のロックと沖縄問題が主たるテーマ。著書に『J-ROCK123』（講談社／1996 年）、『沖縄ナンクル読本』（共編著・講談社／2002 年）、『日本ロック雑誌クロニクル』（太田出版／2004 年）、『沖縄の不都合な真実』（共著・新潮社／2015 年）など。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御

茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp